

## 令和4年第8回下松市教育委員会定例会議事録

- 1 開催日時 令和4年8月25日(木) 午後1時30分～午後2時10分
- 2 開催場所 下松市役所 5階 501会議室
- 3 出席委員等  
教育長 玉川 良雄  
委員 江口 雄二  
委員 篠原 照男  
委員 白木 正博  
委員 林 哲人  
委員 木佐谷 真理子
- 4 会議に出席した事務局職員  
教育部長 河村 貴子  
教育次長 今谷 昌博  
学校教育課長 藤田 康伸  
学校給食課長 小林 政幸  
生涯学習振興課長 引頭 康行  
図書館長 長弘 純子
- 5 会議の書記 教育総務課課長補佐 金子 麻紀
- 6 会議録の署名委員 林 哲人 木佐谷 真理子
- 7 会議の傍聴人 0人
- 8 会議に付した議題  
(1) 報告第21号 スクールバス購入について
- 9 会議の付議の顛末

○**教育長** それでは、令和4年度第8回下松市教育委員会議を開催いたします。  
本日の議事録署名委員は、林委員、木佐谷委員でお願いいたします。  
それでは、本日の議事について審議を行います。

### (1) 報告第21号 スクールバス購入について

○**教育長** 報告第21号、スクールバス購入についてを議題といたします。  
担当課長は説明をお願いいたします。今谷総務課長。

○**教育次長** 報告第21号、スクールバス購入についてご報告いたします。

資料は今日、机上のほうにお配りしております。

児童生徒の安全な通学手段を確保するため、新たなスクールバスを購入するに当たり入札を行いました。入札は8月23日、指名競争入札により行っております。指名された3者全員が参加し、予定価格、税抜きで770万円に対しまして、株式会社ハラダモーターズさんが711万320円で落札されました。落札率は92.34%となっております。なお、新車両につきましては、来年3月15日までに納車されることとなります。

続いて、別紙をご覧ください。

スクールバス運行业務の概要についてご説明いたします。

スクールバスは現在、笠戸島地区と米川地区で運行しております。市が所有する車両は平成14年式と平成21年式の26人乗り、それと平成26年式の33人乗り、計3台となります。このうち、このたび平成14年式の車両を更新することといたします。

次に、運行状況です。米川地区の中学生9名につきましては、徳山西部交通が同社所有のジャンボタクシー、それと小型タクシーにより送迎しております。米川地区の小学生11名、それと笠戸島地区の小学生8名、中学生4名については、防長交通が市所有のマイクロバスにより送迎しています。

平日の基本的な便数ですが、米川・末武中学校間の登校便は、車両がマイクロバスより小さいものですから、今、感染症対策で分散乗車を実施しております。登校便が2便、下校便が2便。米川・花岡小学校間、こちら、登校便が1便と下校便が2便。笠戸島・下松小・下松中学校間は登校便が1便と下校便が3便で運航しております。

なお、現在、中学校で部活動の朝練習は中止となっておりますので、朝練習が再開しますと中学生が乗車する登校便については1便増となります。

最後に、運行业務委託の令和3年度決算見込みですが、米川地区の中学校便が916万5,200円、米川地区の小学校便が957万円、笠戸島地区が1,635万8,100円となっております。

報告は以上となります。

**○教育長** それでは、質疑を行います。質問、ご意見がある方は挙手して発言をしてください。白木委員。

**○委員** このバスはどこで結局使うことになるのですか。

**○教育長** 今谷課長。

**○教育次長** 米川地区・花岡小学校便で主には使うこととなりますが、これは3台を決めてというよりかは、どれかが、例えばメンテナンスに入ったりすることもあるので、ローテーションして使うことが多いようです。なので、メインは花岡小学校行きに使うのですけれども、笠戸方面にも走ることはあろうかと思えます。

**○教育長** 白木委員。

**○委員** これは何か更新の基準みたいなものがあるのですか。何万キロ以上とか何年以上とか。

**○教育長** 今谷課長。

○**教育次長** 法的な更新の基準というのはありません。私どものほうでも基準を設けて更新するということはありませんが、一般的には約20年と言われているようで、ちょうど頃合いかと思っております。

○**教育長** そのほかございますか。江口委員。

○**委員** 今、いろいろな意味で納車が遅れていますよね。注文しても1年待つとか、これは大丈夫ですか。

○**教育長** 今谷課長。

○**教育次長** 一応、仕様書の中に、この3月15日というところを明記した上で入札を行っておりますので、そこまでに納車できると参加された業者さんが判断された上で入札されていると、私どもとしては思っております。

○**委員** もし、納車できない時は、古い車を使いますよね。車検の関係はありますけど。

○**教育長** 今谷課長。

○**教育次長** 予算の性質上、そういった場合は契約の変更であるとか、予算の繰越しとかというところが発生しますので、そういったことがないよう、3月15日までに納車されるものと考えています。

○**委員** 分かりました。

○**教育長** そのほかございますか。篠原委員。

○**委員** 本質的な質問じゃないのですが、今、日野自動車が、ほぼ全車種で発売禁止になっています。この辺りはどうですか。

○**教育長** 今谷課長。

○**教育次長** これは日野社製じゃなくて、三菱社製と聞いております。今、販売されていない日野の車両では入札には参加しないと思います。

○**教育長** 林委員。

○**委員** 以前、末武中学校に来ているスクールバスに、生徒が言っていたのが、たばこを運転手さんが吸って、走っている途中はもちろんたばこは吸っていないのですが、たばこの臭いが嫌でどうにかありませんかという話を私が受けたことがあるのですが、今はそういう話というのはいないですか。

○**教育長** 今谷課長。

○**教育次長** 米川地区の中学校便についてはジャンボタクシーを利用しておりますので、今の西部交通さんが受け持った最初の頃というのは、確かにそういった苦情というかお話が学校のほうからありましたけれど、そういったお話はすぐに業者さんのほうに注意する形でお伝えしておりますので、どうしても車両というのが、会社が言うにはスクールバス以外で使うこともあるようなので、運転手が吸うのかお客さんが吸うのか、はっきりはしませんけれども、以前そういったお話があったように聞いています。

今現在は、十分注意もしておりますので、そういう話を聞いておりません。年1回、協議会を行っております。学校、生徒の保護者と事業者と我々で年1回協議会を開いており

ますが、今現在そういう話は上がっておりませんので、解消されたものと考えております。

○**教育長** そのほかございますか。

それでは、ないようですので、ご了承のほどよろしく申し上げます。

### ～ その他報告・連絡事項 ～

○**教育長** 続きまして、各課からの報告に入ります。

最初に、市の教育研究大会、教育講演会が実施されました。8月の初旬でしたが、それについての研修報告をしていただきたいと思えます。担当課長のほうで説明をお願いいたします。藤田学校教育課長。

○**学校教育課長** それでは、失礼いたします。お手元のほうにはA4の紙1枚でお示ししてあります。

8月5日に下松市役所の5階会議室503において、下松市教育研究大会夏季講演会を実施いたしました。コロナの関係がありましたので、全員集合の形が取れず、リモートという形で行ったのですが、一部の方にご参集頂きまして、教育委員会の委員の皆様にも参加していただいた次第でございます。

テーマにつきましては、子供がよりよく育つ教師力、学校力、集団の教育力の再構築と活用ということで、國學院大学の杉田先生にお越し頂きました。杉田先生につきましては、下松市には、教育長がおられたときの公集小学校等にもご指導に来ていただき、かなり下松に力を貸していただいているところです。

内容につきましては、その枠囲みの中、第1、2、3、4の流れで教えていただきました。

初めのところについては、Society 5.0の社会を見据えての学校教育の役割ということで、今現在、Society 5.0の説明もそこに書いておりますが、社会が抱えている課題や要求について、学校が果たす役割が新しい局面に入ってきていることの説明をしていただき、やっていかなければいけないということをしっかり教えていただきました。

その中で、ではどういった授業をしていけばよいのかとか、どういった取組をしていけばよいのかというのを、2番、3番あたりで話していただき、最後に教師力についてご指導頂きました。

授業改善については、子供に課題意識をしっかりと持たせることが重要であるというお話がありました。つかむ、考える、深める、まとめるという授業の一つの流れ、こういったものを大事にしながら、到達点、プロセスをしっかりと持ってやるというのが、今の子供たちにとって重要であると。課題意識を持てるということは、子供自身の取組にもなっていくということをご指導頂きました。

それから、3番目のところ、みんなで取り組む学級づくりということですが、下に写真

を3枚ほど載せております。特別活動の様子もありますが、左側の2枚については、子供、とある学校での子供たちの集団づくり、これをやっていくに当たって、6年生が1年生の面倒をしっかりと見るといふ学校の例を挙げてくださっています。

下松市内も1年生の面倒を6年生が見ていくという習慣がありますが、この6年生は、本当によく子供同士寄り添うというか、1年生に寄り添って一緒に活動しています。掃除のときとか給食のときとか、遊ぶとき、いろいろなところで一緒にやって、ちょうど真ん中の写真ですが、1年生が、最後のお別れ会ときには本当に号泣して、6年生の最後の言葉をかみしめている姿でございます。心から感謝の気持ちを表している姿です。

左側の6年生を送る会で6年生が前に立って今度はしゃべっているのですが、5年生に対して、次は頼むよと言葉を述べているところです。一人一人が自分の思いを素直に述べて、それを5年生は受け止めて、次は自分たちが次の1年生をしっかりと育てていくといった、こういうふうになされた子供たち、頼られた子供たちというのは、自分の自己有用感というものも上がっていき、社会から必要とされているという気持ちを持てるとおっしゃっていただきました。よい事例として挙げていただきました。

右側の写真ですが、長縄跳び大会を通じて学んだものと書きましたが、運動会の際のクラスの長縄跳び大会が終わった後の様子です。すごく子供たちの表情がいいです。みんな頑張って口を開けて、特に真ん中のお子さんなんかは本当に喜んでる姿ですが、実は最下位です。

その大会直前まで、1人の跳べなかった男の子を外して練習をしていました。その男の子も納得の上で外してやっていた。そのときには200回以上跳べて、優勝は夢じゃなかったのですけれども、最後の最後になって、ある子供が、何々ちゃんも一緒になってやりたいという話をして、みんなで話し合っ、でもそれって僕たちが決めることじゃないよねと、もう一回外していた子と一緒にやらないかと話をしていきました。外れていた子は、ちょっと障害があり、跳ぶとか特に苦手なところがあるようなお子さんだったというふうになわれていて、その子供は、たどたどしいながらも自分の言葉で、一緒にやりたいとそのときは言ったそうです。

その子を交えて、たった1日しか余裕がなかったのですが、何とか練習して、本番で全然跳べなかったのですけれど、ところが、最後のところで二、三か所跳べなかったものが、頑張って抱き抱えて跳んだりしているうちに、2桁以上跳べました。もう大喜びで、タイムを取っているにもかかわらず、ほかのところも跳んでいるにもかかわらず、みんなで抱き合っ、喜んで、もう一回やろうとって喜んで、最後の表彰式で1位から順番に発表して、最後の最下位ですけども、本当に子供がいい笑顔で喜んだのがこの写真です。

やっぱりそういうのを考えたときに、この子供たちにとって縄跳び大会をみんなで頑張る、いい成績をとったということがいいというだけじゃなくて、成績云々じゃなくて、困難をみんなで乗り越えて、多様な人がいる、その中で協同して頑張れるということがすごく大事だということを心の底から学んだ一例と思いました。

最後のところで、期待し任せられる教師、一人一人を大切にせる教師、こうしなさいではなくて、あなたはどうしたいのかと言える教師がいたからこそ、子供たちの活動が生まれたと教えていただきました。人間が人間を教え、人間を人間の中で育てる学校教育というのが、やはりこれから大事になってくるのではないかとということで締めていただけたと思います。

本当にいいお話だったので、また関わっていただきたいと考えております。

以上です。

**○教育長** 杉田洋先生の講演、1時間半ぐらいありましたけど、最初から最後まで感動といいますか、心が洗われるようなお話を聞かせていただいて、私も涙しました。本当に教師と子供の関わり合い、教師というのはこうありたいというのを改めて考えさせられるお話でした。

子供たちのビデオからいろいろなことが学べ、それを杉田先生が解説される中で、先生達の今後に生かしてほしいと思いました。子供達に失敗させながら進んでいく、失敗してもいい、学校は失敗するところだということ、教室や、あるいは活動の中で先生が示してもらいたいと感じ、勇気をもらえるようなお話でした。

資料の下から2番目に、「こうしなさい」ではなく、「あなたはどうしたいのか」と言える教師というのが、一つのキーワードかなというに思います。本市の課題は不登校ということで、一人一人を大事にしなくてはいけない、どのように関わることが大事なことにつながっていくのか、どうしたいのかを子どもたちに考えさせなければならないということ、いじめを例に話をされました。

あなたはどうしたいのか、どうしていくのかということ、問い詰めることができる教師というのが、本当の力のある、求められる教師であるという話でした。

それでは、その次、今後の各小中学校の状況についてということで、藤田課長、お願いいたします。

**○学校教育課長** 続いて、学校の状況について、運動会、修学旅行、コロナの感染状況等に絞りながらお話をさせていただきます。

お手元に資料お配りしております。

初めに、運動会、修学旅行について、ご説明します。

まず、小学校の運動会につきましては、既に全て終わっております。中学校については、3校とも9月の10日、土曜日を予定しております。3校共通なところは半日日程、全ての学校半日日程となっております。それから、保護者の制限につきましては、2つの中学校で制限をする予定であるということで、1校については、制限はしないと聞いております。学校規模に応じて、やはり違うと考えております。

また、ほかにも、例えば写真を撮るときはトラックの近くに寄って、それ以外のときは下がってくださいとか、演技のときに自分の子供に関係があるときは近寄ってもいいですとか、そういった工夫も見られると聞いております。

それから、修学旅行につきましては、小学校は前回の説明と変わっておらず、10月、11月で行かれるようになっております。方面は、県内です。萩・長門方面が多くて、1泊する予定です。

中学校は、今のところ、2つの中学校、久保と末武は県内を今考えていると聞いております。下松中については、県内に照準を絞ったということで宿泊は県内ですが、場所が九州のほうに1か所行きたいということでした。どの中学校も1泊2日に短縮しておられますので、報告します。

直近で一番近いのは、久保中学校の8月31、9月1日で県内というのが一番近く、今のところ感染症対策をしっかりしながら行くということに保護者の同意を得、確認が取れていると思います。

コロナウイルス感染症についてお知らせします。

5月から8月の昨日まで、全国の7波というあたりから、下松も同じように感染者数がぐっと上がってきました。

中学校も小学校も同じような傾向で上がってきてはおるのですが、やや中学校のほうがお盆の前後ぐらいが多く、小学校のほうはまだ下がり切っていないような感じです。

9月1日のスタートの欠席予想については、あまり早く聞いても分からないので、来週ぐらいに学校のほうからどのぐらいの欠席者があるだろうかということをお教えいただきたいなと思っています。それと、学級閉鎖を1日からする必要があるのかというようなことも聞いてみようというふうに考えております。現時点では、1日から学級閉鎖という考えはないと、主立った学校にはお聞きして確認を取っています。児童の健康状態の把握をしっかりしながら、例えば交流活動には制限をかけたり、テレビ放送を使ったりしながら進めていくと聞いております。

また、中学校の部活動についても、1日からは通常の部活動という形を取っていきます。運動会の練習が始まりますので、それを踏まえて、そちらのほうに注力する子供、または学校によっては、運動会のほうに完全にやるので、部活はしないという学校もあるように聞いております。

以上、大まかにお話をしましたが、感染者は、何人かはいる状況でもありますし、感染症もこういった意味では、まだ収束状況には向かっていない状況の中で新学期を迎えていくようになるかもしれませんが、対策をやはりしっかりとしながら、子供たちの学習が充実するように、それから、思い出という意味ではよい思い出づくりができるように、学校と一緒に頑張っていきたいと考えています。

以上でございます。

○**教育長** それでは、今の説明につきまして、ご質問とかお気づき等ありましたら、お願いいたします。江口委員。

○**委員** 感染者の中で、接種をした児童生徒が何名ぐらいいたかって、分かりますか。

○**教育長** 藤田課長。

○**学校教育課長** 接種については、こちらで把握しておりませんので、分かりません。

○**教育長** そのほかございますか。よろしいですか。篠原委員、どうぞ。

○**委員** 先ほど、小学校、中学校で感染者がいるというのは、現時点で自宅待機になっている人の数ですか。今までの積み重ねとかではなくて、今、まだ治っていないというか、自宅待機している人がいると言われたのですか。

○**教育長** 藤田課長。

○**学校教育課長** 待機期間がありますので、24日の時点で家にいなければいけないというふうに言われている、児童生徒の状況です。

○**教育長** そのほか。よろしいですか。ありがとうございました。

それでは、続きまして、公民館の建設事業と天王森古墳の関連の事業についての報告をお願いいたします。引頭生涯学習振興課長。

○**生涯学習振興課長** 生涯学習振興課から、公民館建設事業と天王森古墳の埴輪について、2点ご報告いたします。

まず1点目、公民館建設事業です。今現在、今年度、花岡公民館の講堂の建て替え、2か年の事業の2年目であります。今年度の竣工に向けて、現在順調に工事が進んでおります。現在の進捗は外壁、屋根工事、外側の仕上げの段階に入っています。今後、内装の工事になります。進捗割合は約60%となっております。

それから、米川公民館、末武公民館は建て替えの方針が出されております。基本計画の策定に向けて、市役所庁内で検討を進めているところであります。計画策定の際には、改めて皆様のご意見も伺いたいと思っておりますので、その際はよろしくをお願いいたします。

次に、天王森古墳の埴輪についてご報告します。

7月21日に古墳の発見の報道、プレスリリースをいたしました。それから、8月10日から実際にスターピアくだまつ、ハート・フロアーで展示を行っております。大刀形埴輪と併せて円筒埴輪、それから、パネルでの解説、出土状況のビデオ、そういったものを展示しております。

お盆の期間中は1日230人程度の見学がございました。展示開始からは、約2,200人が見学に来られております。

また、この展示を記念しまして、9月3日に講演会を開催することとしております。当初300人の定員で展示ホールでの開催を予定しておりましたが、申込多数、さらに、新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、大ホールに場所を急遽変更して、定員は500名にしております。既に300人以上、申込みがございました。皆様、まだであれば申込みのほうをよろしくをお願いいたします。

説明は以上です。

○**教育長** ご質問のある方は挙手をお願いいたします。

よろしいですか。

ありがとうございました。以上をもちまして、本日の審議を終結いたします。



そのほか、各課から連絡等ありましたら、お願いいたします。今谷次長。

○**教育次長** すいません、先ほど報告第21号の中で、私が説明で入札日を8月23日と申しましたが、正確には、資料のとおり8月22日が正解でございます。おわびして訂正いたします。

○**教育長** そのほか。金子課長補佐。

○**教育総務課課長補佐** 9月の行事予定を説明します。

資料を1枚めくっていただいて、委員さんの出席に関するものは、9月28日水曜日に、下松市教育研究大会が小学校でございます。また、29日木曜日に定例会を1時半から開催します。10月5日に中学校の下松市教育研究大会も予定されております。

教育研究大会については、各学校の日程が決まりましたら、委員さんへご案内をさせていただきます。以上です。

○**教育長** そのほかございますか。

それでは、以上をもちまして、第8回下松市教育委員会議定例会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午後2時10分終了